

# 協調に「国や開設者関与」

## うおいち橋爪社長も出演

「第34回生鮮流通フォーラム（パーソナル情報システム主催）が16日、オンライン形式で開催された。市場法改正後の卸売市場」をテーマに、農林水産省食料産業局の武田邦紀食品部課長が今後の課題を報告し、橋爪康至（うおいち社長）業界の幹事と意見交換した。その中で、物流効率化やデジタル化推進における「国」を改めて呼びかけた武田課長は「国や開設者が関与しやすければいい」と話した。

デイスカッションに先 武田課長は、地方卸売 業務種別の変更では、あつたことを明かした。立ち「市場法改正後の卸 市場は00強減ったと 項目別にまたなハリキ 改正市場法施行後も施 売市場の取組と課題」はいえ、143市場 ションがまられたかを一 設置では「輸出入など ので議論した武田課長は、 や3531市場はほぼ変 態化。多か「現実と含 テーマ性をもちた設備投 資は変わらず補助金が活 用されている」ともテ ーラ化・自動化の取り 組みも進んでいること を示唆。締めくりに今後 の課題として、改正市場 法施行前の議論の時から 卸の皆さんと話をし、 必要に応じて、仲卸連携 の必要性を叫び、

「国や開設者が関与しやすければいい」と話した。

あつたことを明かした。改正市場法施行後も設置では「輸出入などテーマ性をもちた設備投資は変わらず補助金が活用されている」ともテ

をもっと突き詰めたい」となる早割。適応したい要望は、慣習や設備に「国や開設者が関与しやすければいい」と話した。



オンラインで配信されたフォーラム。右上の画面は発言する橋爪うおいち社長。最大231人が視聴した

### 集荷困難に 仲卸と連携

業界関係者との意見交換では、新型コロナウイルス下の過去1年間の取り組みの発表から始まり、今後進める市場活性化のヒントについて議論を深めた。橋爪社長は海洋環境の変化で天然魚の生息が北上し、養殖魚の増えを明らかにした。

必要に応じて、仲卸連携の必要性を叫び、互いに意見を交わして

互いに意見を交わして